様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	第7回ふじみ野市地域公共交通活性化協議会			
開催日時	平成28年10月11日(火) 開会時刻 午後1時15分 閉会時刻 午後2時40分			
開催場所	市役所5階 執行部控室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	久保田 尚	委員	小泉 二三枝
	委員	永田 喜雄 (代理)	委員	平野 由紀
	委員	山崎 俊明	委員	黒岡 幸男 (代理)
	委員	宮迫 智昭 (代理)	委員	川角 和嗣
	委員	菊池 誠 (代理)	委員	新井 操
	委員	小谷 義行	委員	荒井 理拓 (代理)
	委員	金川 新吾 (代理)	委員	水谷 敏彦
	委員	梶村 善忠	委員	穴戸 千恵
	委員	吉田 輝 (代理)	委員	柳沢 俊男
会議の議題	(1) 市内循環ワゴン実証運行開始以降の取組み状況 (報告) (2) 市内循環ワゴン実証運行の評価・検証 (3) 市内循環ワゴンの本格運行計画 (素案) の検討 (4) 市内循環ワゴンの愛称募集結果			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	—			
傍聴人の数	2人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	都市政策部都市計画課			
議事の確定	確定年月日	平成28年 月 日		
	記名押印	役職名 会長 久保田 尚 ㊟		

発言者	発言の要旨
	<p>1 議題</p> <p>(1) 市内循環ワゴン実証運行開始以降の取組み状況（報告） 委員から発言なし。</p> <p>(2) 市内循環ワゴン実証運行の評価・検証</p> <p>平野委員 市内循環ワゴンアンケート調査について、60歳以上が過半数を超えており、利用目的は通勤通学が最も多い結果となっていますが、実際の利用者の年齢層はどのようになっていますか。</p> <p>事務局 年齢層は記載のとおりとなっています。比較的高齢の方が通勤で使っているという実態があります。</p> <p>久保田会長 利用者状況の印象は、高齢の方が中心となっています。高齢の方とお孫さんが乗られているケースも多いです。</p> <p>平野委員 14頁を見ると、通勤通学に使っていると見受けられるBコースやDコースがあるように、コースによって使われ方にバリエーションがあるように感じます。</p> <p>久保田会長 既存の民間バス路線と重複しているバス路線は利用者数が伸び悩んでおりますが、C、Dコースを運行することによって、既存のバス事業者には何か影響等がありますか。</p> <p>宮迫代理 無料だったバスが今年の4月から有料運行が始まりました。民間のバス事業者さんの動向をお聞かせいただきたい。</p> <p>山崎委員 当社の路線バスは南古谷駅と上赤坂を結び、市役所前の県道を通る路線がメイン路線で、3～4年の状況は減少傾向でしたが、ここ1～2年で戻ってきています。当社の施策として、2015度よりICを導入した関係で、定期利用のお客が増えてきています。それ以上に2016年度にワゴンに代わってからも伸びている状況です。以前市内循環バスをご利用していた方が、当社のバスに移行してきている実績データが出ています。それ以外のバスに関しては、お客様の増減はない状況です。</p> <p>菊池代理 弊社は大きく2路線運行しており、上福岡駅を起点とした鶴ヶ岡循環とふじみ野駅を起点とした大井循環がありますが、平成28年4月以降を見ても特に大きな傾向の変化は見られませんでした。</p> <p>ふじみ野駅東口と富士見ニュータウンを結ぶ路線バスは、循環ワゴンのEコースと重なりますが、ららぽーとの特需もあり、98.3%になっていますが、循環ワゴンの影響か分かりません。また、ふじみ野駅と鶴瀬駅を結ぶ路線バスは2系統運行中で、95%程度と過度な数値の変化は見られませんでした。</p>

発言者	発言の要旨
久保田会長	本協議会の基本的なスタンスとしては、循環ワゴンのみを議論するのではなく、民間バス事業者やお出かけサポートタクシー等の市民の足となっている公共交通についても議論していきたいと考えています。
事務局	お出かけサポートタクシーの利用実績は4月分が692人、5月分が1,255人、6月分が1,515人、7月分が2,190人、8月分が2,318人、9月分が2,406人と増加傾向です。
柳沢委員	お出かけサポートタクシーについては、件数が伸びていますが、出発点はどこが一番多かったのかを教えてください。また、市内循環ワゴンについては、もともとは身体障害者の方の利用は考えていないと聞いていたのですが、利用できるようになった経緯があり、実際は車いすの利用者はどの程度いらっしゃるのか教えてください。
事務局	お出かけサポートタクシーについては、改革推進室で事業を行っているため現在資料がないため、後ほど説明します。循環ワゴンでの車いすの利用は0でした。
久保田会長	実績や市民の評判については、今後も協議会で協議していきたいと考えています。
(3) 市内循環ワゴンの本格運行計画（素案）の検討	
久保田会長	質問等はございますか。
事務局	先ほど、お出かけサポートタクシーはどこが一番使われているかといったご質問がありましたが、成果分析の途中経過をお知らせします。駅が一番多く、ふじみ野駅の東口、西口、上福岡駅の東口、西口に行かれる方が多いという状況です。速報値となっているため変わることが考えられますが、駅に行かれる方の利用が多いという状況です。
柳沢委員	乗る場所はどこですか。
事務局	乗る場所は色々な場所となっており、これから実証実験の解析を行う予定となっています。
久保田会長	本題に戻ります。事務局としては③案にて進めたいと考えているようですが、ご意見ありますか。
水谷委員	当初の意見で、東上線を挟んで東と西の行き来ができないという意見が挙げられていました。踏切を渡ると渋滞という問題もあるため、やむを得ないと思いますが、アンダーパス等で途中抜けられる場所を利用することも考えられるため、このような意見も反映して欲しいです。上福岡駅とふじみ野駅の間が空いてしまっているため、東口と西口をつなぐときに、狭いアンダーパスを通る案が欲しいです。実証運行のスタートの際に4か所で説明会がありましたが、2～3か所でこのような意見が出ていました。あくまで実証ということであれば新しいルートを通って欲しかったです。「通っていない」「繋いでほしい」「駅によって渋滞する」といった3つを兼ねた実証を行って欲しいです。また、Dコースは上福岡駅までですが、ふじみ野駅まで繋いだらどうでしょうか。

発言者	発言の要旨
事務局	<p>アンダーパスを通るという意見ですが、ダイヤによって代替したいと思っています。上福岡駅とふじみ野駅を繋ぐというご意見については、乗り継ぎ券を発行しています。問題点としては、高架で駅をまたぐという不便があると思います。現在は上福岡駅・ふじみ野駅のそれぞれの東西口のダイヤが連動していないため、ダイヤの変更の際に連動させて、乗り継ぎしやすくしていこうと考えています。Dコースについては、大井総合支所でふじみ野駅に向かうCコースに乗り継ぎができるように考えています。上福岡駅とふじみ野駅の間がバスの空白になってしまうという意見ですが、循環ワゴンを検討する際に、公共交通の空白地域や不便地域を対象にバスを考えるという話がありました。この個所につきましては、駅を利用して欲しいということで入れていないという状況です。</p>
水谷委員	<p>駅で乗り継ぐということですが、利用者の実態を見ると非常に高齢者が多い中で、駅の上り下りは大変なため、考慮すべきです。Dコースは地域的に民家が少ないコースなため、人がいない場所を走らせても仕方ないので思い切りが必要と感じます。</p>
事務局	<p>確かに乗り換えのご不便をかけることは承知しています。ただ、駅にはエスカレータやエレベータがあるため、利用者の意見を聞きながら見直しを検討していく予定です。</p>
久保田会長	<p>数分でも立って待たなければいけない状況はつらいため、ベンチの設置等の配慮を細かくして欲しいです。</p>
事務局	<p>循環ワゴンで補えないところは出てくると思います。補完する意味でお出かけサポートタクシーがあり、要望や利用実態等に応じてアクセスポイントを大幅に増やしていく予定です。市内循環ワゴンとお出かけサポートタクシーの両方を組み合わせて市内の交通網を考えています。</p>
柳沢委員	<p>福祉の面から考えると、全く人がいない路線を思い切って外すのであれば、変わる何かをしていくことを考えてほしい。循環ワゴンの車いす利用がいなかった理由として、停留所を見るとわかりますが、車いすで待てる場所がないからだと思います。車いすが利用できるということをPRしていなかったこともあります。バス停そのものに不安があります。車いすの方のバス停はある程度制限して、安全に止まれるバス停をPRしていくことも考えられますので、考慮して欲しいです。</p>
事務局	<p>バス停は道路上に置きますが、車いすの方が利用しやすい環境ではない状況です。整備をすることも考えられますが、車いすの方に利用しやすいバス停を広報するというアイデアはよい施策であると考えます。現在使用している循環ワゴンでは、車いす利用者は後ろ向きになっているため、不便をかけていると思います。道路に一度降りないと車いすは使えない状況です。利用者の方から使いやすいバス停を教えていただき、バス停や地図に車いすマークを付けるなど対処していきます。</p>
久保田会長	<p>③案を中心に、本日頂いた意見を加え進めていきます。</p>

発言者	発言の要旨
久保田会長 事務局 久保田会長	<p>(4) 市内循環ワゴンの愛称募集結果</p> <p>命名代表者1名は私が抽選で決めることとなりました。 命名代表者の方には市長の感謝状等を贈呈いたします。 3番の方です。協議会の決定事項として、市内循環ワゴンについて愛称は「ふじみん号」命名代表者は3番の方と決定いたしました。異義がないようでしたら決定いたします。</p>
事務局	<p>2 その他</p> <p>次回の委員会は平成28年12月20日（火）午前10時から大井総合支所1階災害対策室で行います。</p>
柳沢委員	<p>上福岡駅でバスに乗ろうと待っていた時、バス停から2～3歩下がって待っていたため、循環ワゴンがそのまま行ってしまったということがありました。次の循環ワゴンまで時間がありますので、日陰を探して下がっている場合もありますので、よろしく願います。運転手の皆さんはとても丁寧で乗っていて気持ちいいと思っております。</p>
事務局	<p>失礼いたしました。これから夕方暗くなり、待っていたか待っていないか分からなかったり、雨の日に傘を差し、離れた所にいて分からなかったりするようなことがないようにいたします。現在、1便平均利用者数は2.8人と、あと1人乗せれば目標を達成することができるため、1人を乗せる努力を行ってまいります。</p>
新井委員 事務局	<p>愛称は今日から使ってもいいのですか。 広報広聴課に確認いたします。</p>
宍戸委員	<p>先程、一人ひとり拾い上げる努力をするということだったのですが、アンケートの結果でも通勤通学の用途が意外にも多いということがあります。そもそもは福祉のための循環ワゴンというコンセプトであったと思いますが、私が利用するBコースの地域は駅の方に向かっていく人が多く、行きが乗れても帰りが無いということで、利用を躊躇している方が多くいると思います。そういった方を多数拾い上げて欲しいと思いますので、次回ダイヤの検討があるため、増発をお願いしたいです。</p>
事務局	<p>運行管理者と話を進める中で、あまり運行時間帯を延ばすと、シフトを2人にしなくてはならず、コストが掛かる等の課題が上がっています。このような課題も乗り越えながら皆さんのご要望にお応えしたいと考えています。色々な視点で考えて、出来ること出来ないことが出てくるとは思いますが、要望にはなるべく応えていきたいと考えております。</p>